

第4回平塚市社会教育委員会議要旨

日 時	令和7年1月21日（火）15時15分～17時00分
会 場	平塚市博物館 講堂
出席委員	比企委員、渡邊委員、小島委員、鈴木委員、丸島委員、笹尾委員、 國正委員、西郷委員、西田委員、飯田委員
欠席委員	宮路委員
事務局	石川社会教育部長、石塚社会教育課長、鳥居中央公民館長、藤田中央図書館 長、浜野博物館長、坂田博物館館長代理（管理担当）、川端博物館館長代理（学 芸担当）、勝山美術館館長代理（学芸担当）、木村課長代理、木村主査、吉水 主事
傍聴者	なし

会議要旨

1. 議長あいさつ

今期のテーマは社会教育施設（図書館・博物館・美術館）の連携や活用について話し合うことになっているが、まずは現状の各施設の状況を伺い、市民目線の報告書ができればと思う。今日説明いただく博物館は開館以来、「活動する博物館」ということで自館での展示以外の部分で、外の施設への学芸員の派遣などを行ってきた。今日は博物館から詳しい活動をお聞きし、どのように市民や地域で活用していけるのかを考えていきたい。

事務局から今年度の実施予定の事業等の情報提供をお願いしたい。

○事務局

社会教育部内では、秋を中心に多くのイベントを実施している。その中でも、1月には市内駅伝大会やカルタ大会のサポートを実施した。また、美術館のロビー展として、「古井彩夏展 熱を与えた鉄とステンレス」を開催中である。同時に「おしゃべり美術館 ひらびあ一つま〜れ10年記念展」が2月16日（日）まで開催している。

社会教育課では、3月16日（日）に「相模人形芝居大会」が南足柄市にて開催される。相模人形を伝承する県内5つの座が一堂に会し、行われる公演である。

中央公民館では、1月25日（土）～26日（日）に中央公民館の利用団体の成果発表の場として、「ちゅうおうフェスタ」を開催する。また、地区公民館では、2月15日（土）から4週間にわたり、各地で「公民館まつり」を開催する。

スポーツ課では、3月1日（土）に「少年少女マラソン大会」が開催される。3月23日（日）には、総合公園にて「市民スポーツフェスティバル」を開催する。幅広い世

代でさまざまなスポーツを体験できる場となっている。

市内の施設では、今回の博物館や図書館などの社会教育施設だけでなく、学校施設も開設から40～50年を超える施設が多くなってきている。今後は、中央図書館、博物館、美術館ともに改修工事を予定している。改修工事期間は休館をすることになるが、施設外でできることもあるので、検討し、実施していきたい。休館で御不便をお掛けすることになるが、老朽化した施設を維持、管理していくためには必要なものとなるので、御理解をいただきたい。

2. 議事

(1) 博物館の連携事業等について

○事務局

資料「平塚市博物館 施設及び運営状況」

1. 職員の配置状況及び分掌事務

資料に基づき説明をした。

学芸員の内訳は、歴史担当1人、民俗担当2人、考古担当3人、自然担当1人、地質担当1人、天文担当3人である。

2. 令和6年度行事実施状況

資料に基づき説明をした。

プラネタリウムは一般投影のほか、無料団体として幼稚園・保育園・小学校などの団体には無料で投影している。

一般募集行事の中の「博物館 こどもフェスタ」は子ども向けのさまざまな体験活動等ができる内容で、令和6年度はゴールデンウィーク期間の4月に2日間開催している。

3. 情報発信状況（ホームページとYouTube・SNS）

資料に基づき説明をした。

YouTubeはコロナ禍を機に動画配信に力を入れている。毎月数本の動画を公開している。コロナ禍に配信を始めた「5分でわかる平塚学入門」のシリーズは、各分野の学芸員が動画を作り、毎週1本ずつ配信をしていたものである。

会議資料4ページの令和5年度連携事業一覧【博物館】について、事務局から補足説明があった。

講師派遣等要請事業は、外部依頼行事に相当するもので、学芸員が庁内や外部の団体から講座の講師派遣や取材協力などを行っている。特に地区公民館から星を見る会などの講師派遣依頼が多くある状況である。

社会体験研修受入事業は、小学校の教員が1～2日間、博物館の現場を通して、授業に役

立てていただくことを目的に行っているものである。

博物館実習受入事業は、大学からの依頼を受けて、学芸員の資格を取りたい学生の現場実習を受け入れているもの。最近では、9月上旬の1週間受け入れている。

職業体験実習受入事業は、市内の中学生の職場体験の一つとして受け入れている。市内の平塚江南高校では、スーパーサイエンスハイスクールという取組を行っており、その一環で高校生を夏休みの2日間受け入れている。夏の博物館のイベントに協力してもらっている。

学術グループ活動事業は、ワーキンググループと似ているところはあるが、ワーキンググループは博物館の主催事業の中で育成された市民のグループで、学芸員の指導のもとに活動しているものである。一方、学術グループは、外部団体であり、博物館で活動し、その成果を発表していただいている。また、成果は博物館も活用している。

プラネタリウム学習投影事業での小学生は、ほとんどが小学4年生である。

また、学校等に博物館の資料の貸出も多く行っている。

（2）テーマ協議

○議長

博物館からの説明を受けて、質問があればお願いしたい。

○委員

特別展はどの位前から準備をしているのか。

○事務局

どのようなテーマにするかは、約3年位前から準備を始めている。その後、調査や資料収集を始める。概ね1年前には、形が見えてくる状況である。

テーマは、周年や記念の節目で取り上げるものもある。

○事務局

特別展等では、図録を作成しているが、その図録は学芸員が一から作成しているものである。

○議長

春期特別展「近代ひらつかの女性たち」では、「平塚人物史研究会」の一員として関わっている。博物館から話があったのは、一昨年の秋だった。団体も博物館の特別展に協力することに慣れていないこともあり、展示や図録作成に携わったが、身に染みてその大変さを実感している。平塚市博物館は、さまざまな団体とも協力し、事業を展開しているのは有意義なことだと思う。

○副議長

外部依頼行事では、団体からはどのような形で依頼があるのか。博物館から団体等へ案内して、依頼があるのか。

○事務局

特に団体に案内しているわけではなく、団体から直接、電話やメールで博物館に相談や依頼がある状況である。

○議長

市の協働推進課で行っている「みんなのまち情報宅配便」には登録しているか。

○事務局

登録をして実施している。

○副議長

特に案内をしなくても依頼が多く来ている状況か。

○事務局

現時点でも団体からの依頼が多く、団体の要望に応えるのが難しいこともある。

○委員

博物館と市民との関わりでは、思っていた以上に幅広く活動されていると感じた。

博物館のイベント等に関わろうとする市民に対する博物館の期待感や関わる市民の目標人数などはあるか。

○事務局

具体的な目標値はない。博物館の「星を見る会」という事業では、「天体観察会」というワーキンググループが天体望遠鏡の操作をしたり、解説したりするなど、協力いただいている。ワーキンググループのメンバーの方は積極的に携わっていただける方も多く、博物館としては、大変助かっている。

○事務局

ワーキンググループ全体に博物館の活動に関わることに積極的だったり、やりがいを感じて取り組んでいただいている傾向にある。一般的には博物館の情報を享受して終わりということがあがるが、グループが学んだことを通して、自発的に調査したり、まとめたことを

博物館文化祭で展示をして、市民に見てもらうことに繋がっている。

また、「石仏を調べる会」では、市内の石仏を調査して、冊子にまとめて市民に見てもらうだけでなく、石仏見学会を企画して、参加する市民を案内することも行っている。行事が一回で終わってしまうのではなく、循環し継続させていくことを狙って活動をしている。こどもフェスタでは、2日間で15種類のイベントを実施している。学芸員がそれら全てに関わって運営し、多くの子どもたちの対応をするのは、難しいところがある。ワーキンググループのメンバーに子どもたちへのアドバイスや運営のサポートに入っているからこそ、大きなイベントを実施することができている。博物館にはなくてはならない存在である。

○議長

外部へ学芸員が出向いて活動しているものに、ワーキンググループのメンバーが単独で行くことはあるか。

○事務局

外部から博物館に依頼があるものなので、ワーキンググループのメンバーだけで対応することはない。学芸員と一緒にワーキンググループのメンバーが行くことはある。過去に小学校で土器づくりをした際には、一緒に行って対応した。

○委員

博物館は市の広報誌でもよく情報を発信いただいている、素晴らしいと思う。天文担当の学芸員の方がメディアに出ていたりして、PRになっていると感じている。

施設が古いのは仕方のないことかもしれないが、全体的に施設が古いのが残念だと思う。例えば今後、複合化した施設にするなど考えていただけるといいのではと感じた。

現状で興味関心のある方ばかりが博物館を利用しているとは思わないが、もっと新しい方が来てもらえるように開いていけるとより良くなるのではと思う。

バックヤードの展示品などの地震対策はどうか。

○事務局

展示室の展示物には、適宜地震の揺れを緩和する装置を付けていたり、手ぐすで落ちないように対応している。バックヤードの作品は、棚に置いてあるものには、落下しないようバーを設置して対応している。展示室で使用しているような揺れを緩和する装置はバックヤードには設置できていない。

○委員

平塚市の博物館の入館料は無料であるが、他市の状況はどうか。

さまざまな事業を幅広く実施していて大変だと思うが、これだけ事業を実施していると費用が多くかかってくると思う。資金面では、どのように運営しているのか。

○事務局

近隣の市直営の博物館（茅ヶ崎市、厚木市、大磯町）でも入館料は無料で運営している。特別展では、資料によって保険費用がかかったり、警備員を付ける場合があることもあり、料金を徴収することもある。

博物館としては、多くの市民の方に気軽に何度も来館していただきたいという思いがあり、有料で仮に 100 円だとしても敷居が高くなってしまい、来館頻度が減ってしまうだろうというところもあり、入館料は無料としている。

博物館の運営費用は、市全体の予算から割り当てられた予算で運営している。

○議長

YouTube を配信しているが、とてもしっかりできていると感じる。動画編集等に詳しい専門の人がいるのか。

○事務局

YouTube の動画は館長も含めて学芸員全員が作成している。作成する学芸員が動画の編集等を行い、専門のスタッフがいるわけではない。動画編集に長けた学芸員がフォーマットを作り、作業している状況である。

○議長

学校では GIGA スクールが進んできていて、子どもたちが授業でタブレットを使っているが、例えば図書館の電子図書館のように、博物館では小・中学生の授業で使えるメニューは考えているか。

○事務局

博物館でも GIGA スクールの所管部署に相談したことがあるが、現状、外部へのインターネットのアクセスには、さまざまな制約があるようでは対応していない状況である。博物館で公開している YouTube を見られる状況になれば、授業等で活用いただけるのかと思う。

○議長

学校では、GIGA スクールについての情報はあるか。

○委員

外部へのアクセスはセキュリティが厳しく、学校の授業で使える範囲が現状限られてし

まっている。もう少し幅広く活用できるとよいと思う。

○議長

デジタルアーカイブが進んでいるところもあるが、平塚市ではどうか。

○事務局

デジタルアーカイブは、令和５年度、６年度と民俗の映像資料をデジタル化することを進めている。今年１月には、X（旧ツイッター）に七草行事の映像を公開し、再生数９０万回も視聴いただいている状況である。博物館の資料はアーカイブできるものがあるので、各種権利関係の許諾等の対応をし、進めていきたい。

○副議長

図書館でもデジタルアーカイブを進めているが、図書館と博物館の連携は予定しているか。

○事務局

今年度から来年度にかけて、各課で持っている主に地域資料の一部を図書館のデジタルアーカイブに公開する予定である。

○副議長

利用者目線からするとほとんど同じようなものが別々の窓口になっているのは、利用しにくく、分かりにくいと思う。最終的には、それらのデジタルアーカイブを一体化する予定はあるか。

○事務局

現状は、一体化までの予定はない。

○副議長

博物館はとても多岐にわたって活動されていると思う。博物館は興味関心が開く場所だと思うので、小学生の期間で数回は学校のプログラムに入れて、訪れることになっている学校もあるが、とても良いことだと思う。

博物館の運営は市民に広く興味関心を持ってもらいたいのか、それとも興味関心を持っている方向けなのか、どのように考えられているか。

○事務局

博物館としては、すそ野を広げていく意味でも博物館に行ったことのない方やあまり興

味を持ってない方にも博物館に注目してもらいたいと思っているし、既に興味関心を持っている方には、博物館の事業の協力や調査・研究などにも協力してもらっており、両方大切に考えている。

○副議長

地域活動をしている人にとって、まだ博物館は敷居が高いというか距離感があるように感じたりする。

○議長

博物館には専門の学芸員がいることは知られていると思うが、気軽に地域に来てもらって資料の解説をしてもらっていいのだろうかと思っているかもしれない。

例えば、公民館で過去に学芸員の方を呼んで事業をした実績があれば声を掛けやすいと思うが、そうでないと少し敷居が高いのかなと思う。

公民館では、このあたりどうか。

○委員

県の青少年センターで子ども対象の科学ショーがあった。未就学児から小学校低学年を対象にしたものであったが、炎色反応や爆発実験が実演されていた。平塚の公民館で講師として実演していただくことができるかを聞いたら、可能で無料ということだった。

博物館の分野は多岐にわたっているので、ビギナーの方向けの入門編から応用編まで市民の幅広いニーズに応えていただけるのであれば、(学芸員の方との調整等難しい面もあると思うが)市内の公民館と連携して事業ができるといいと思う。

○議長

博物館のできる講座等をメニュー化して、地域の団体(学校や公民館など)に周知してもいいのかとも思うがどうか。

○事務局

地区公民館や学校から依頼を受けて、地域に即した歴史や文化遺産などの史跡巡りなど何件か対応している行事もある。ニーズがあれば、できる範囲で対応したい。メニュー化した場合には、そのニーズに応えきれるかという懸念もある。

○副議長

ニーズが多い場合には、有料にすることを考えてもいいかもしれない。例えば市外団体を有料にするなど。

○議長

感想等あれば、各委員からお願いしたい。

○委員

私の学校では、小学３年生の社会の授業で市内の施設巡りを行っている。一日で市内のさまざまな場所を巡っており、その中に文化ゾーンも含まれている。博物館の見学では、スケジュールの関係で十分に時間が取れないこともあるが、子どもたちからは「もっと見学したかった」という声が聞かれる。博物館の特別展のお知らせや資料を学校にも送付いただいていて、教員の中には授業で活用しようという声も聞かれる。図録などの資料を作成する学芸員の方は大変だと思うが、学校としては非常にありがたく思っている。

○委員

定例校長会でも、教育長から博物館の展示会等の紹介をしていただいている。博物館でさまざまな事業や展示がされていることは知っていたが、それを十分に中学校で活用できていない部分があったり、子どもたちに伝えきれていない部分を感じている。もっと中学生にも博物館の良さを知ってもらうよう周知していきたいと改めて強く感じた。

○委員

博物館には何度も来館しており、昔から知っていたが、施設が古かったり、プラネタリウムももっと広いといいなと感じた。

今日、色々な話を伺って、もっと学芸員の皆さんを公民館の講座などで講師として活用してもらえるといいのではと思った。例えば、中央公民館の市民大学講座や市民アカデミーの連続講座で博物館の学芸員の皆さんにやっていただけるといいと思う。私も博物館の良さをもっと広報していきたい。

○委員

私が所属しているのは自治会連合会であるが、周りの高齢者の方を含めて、あまり博物館のことを話題にすることがない状況である。自治会や高齢者の方々にも、もっと博物館を活用してもらえそうな仕掛けができればいいと思った。

○委員

個人的に博物館の学芸員の方には、以前色々とお話をいただいた。公民館としては、史跡巡りや古道の解説をいただいたりしてお世話になっている。今後もますます公民館と博物館とが連携していければと思う。今後、常設展示の衣替えをしていくと思うが、楽しみにしたいと思う。

○委員

こんなにも多く YouTube で情報を発信していて、多くの市民に閲覧されていて素晴らしいと思った。博物館が学芸員の方々だけでなく、解説ボランティアの方々の助けがあって、運営されているということを初めて知ることができた。また、メディアに平塚市の学芸員の方が出演して解説しているのをとても誇らしく感じる。

○委員

市民のニーズがある事業を実施されているのを知ることができた。博物館の自走度を高めることができると多岐にわたる魅力的な事業も実施できて、より一層多くの方に来ていただける博物館になると思うので、そこを何か工夫できるといいのではないかな。

○副議長

過去に博物館の学芸員の方にバードウォッチングの解説をしていただいたことがある。これがきっかけで鳥に関心を持つことができた。実際、体験をすることがとても大切だと感じている。地域で活動する中でも、学芸員の皆さんのお力を借りて、何か楽しい体験をすることや興味をひくことができればいいなと思う。今週末、私の地区では郷土カルタ大会が実施される。その郷土のカルタの内容を詳しく解説してもらえる機会があると、より自分の住んでいる地域のことを深く知ることができるのかなと思った。

○副議長

講師依頼について、知っている人だけがサービスを享受できている状況があるのではないかなと思った。無料であることも理解できるが、例えば 100 円でも有料化すれば、ある程度積み上がってくると思う。それを別の形で市民に還元することもできるのではと思う。ニーズが高いことを良い方向に回せばいいとすごく感じた。

○議長

来年は博物館開館 50 周年ということだが、私が中学生の時にこの博物館が開館した。夏休みの宿題で作成した自分の作品が博物館に展示されたという記憶がある。あれからもう 50 年経つということは感慨深い。

図録でも公開していないものがあると思うので、展示する場所の問題もあるが、そういったものを市民に公開できるといいのではと思った。

また、福島県須賀川市では、市民交流センター等が入った建物の中に図書館や円谷英二ミュージアムがある。円谷英二ミュージアムの展示の中では、ゴジラなどの展示のほかに関連した図書も一緒に置いてある。その図書は図書館にある貸出用の図書なので、いつでも借りることができる。円谷英二ミュージアムと図書館が連携して展示していて、素晴らしいと感じた。平塚市でも、特別展などで同じように関連した展示ができるといいと思っ

た。

3 館コラボで連携している事業もあるが、それぞれが関連した資料や図書を一緒に展示するような連携が増えるといいと思う。

(3) その他

- ・神奈川県社会教育委員連絡協議会関係

研修会代替動画の視聴について、視聴人数などを確認した。

2 月 4 日（火）に予定されている地区研究会（大磯町）での交通手段の確認をした。

令和 7 年 1 1 月 2 0・2 1 日に予定している第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会
神奈川大会の予定と運営することになっている分科会について説明した。

(4) 今後の会議予定の確認

第 5 回会議 令和 7 年 6 月 4 日（水） 1 4 時 4 5 分から 平塚市美術館ミュージアム
ホール

その他

○事務局

1 月 2 3 日（木）から 1 月 3 1 日（金）までの 1 0 時～1 5 時に美術館の 1 階テーマホールにて、絵本作家・たてのひろし氏による絵本の公開制作を予定している。

○事務局

社会教育委員の任期は令和 6 年 6 月 1 日から 2 年間となる。次年度も基本的に委員の継続をお願いしたい。選出団体によっては交代になる委員もあるかもしれないが、その時は社会教育課までお知らせいただきたい。

以 上